

土石流の発生を瞬時に警報伝達！

土石流監視システム

土石流監視システムは、砂防工事における安全対策として、土石流発生の危険をただちに知らせます。

- 土石流常時監視
- 商用電源不要
- 現地警報・メール通報対応

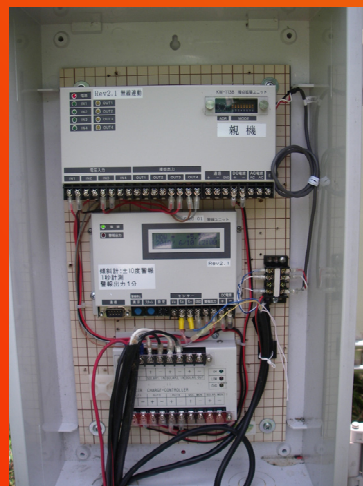


特徴

- 上流のセンサが土石流を感知すると、瞬時に下流の警報器を動作させます。
- 上流～下流の信号伝送は無線通信を利用するため、ケーブル布設は不要です。
- ソーラーパネルとバッテリーのみで長期運用が可能で、商用電源は不要です。
- モバイル回線を利用し、遠隔地から現地状況の把握も可能です。



砂防堰堤に設置したセンサ



上流の警報判定・伝達装置

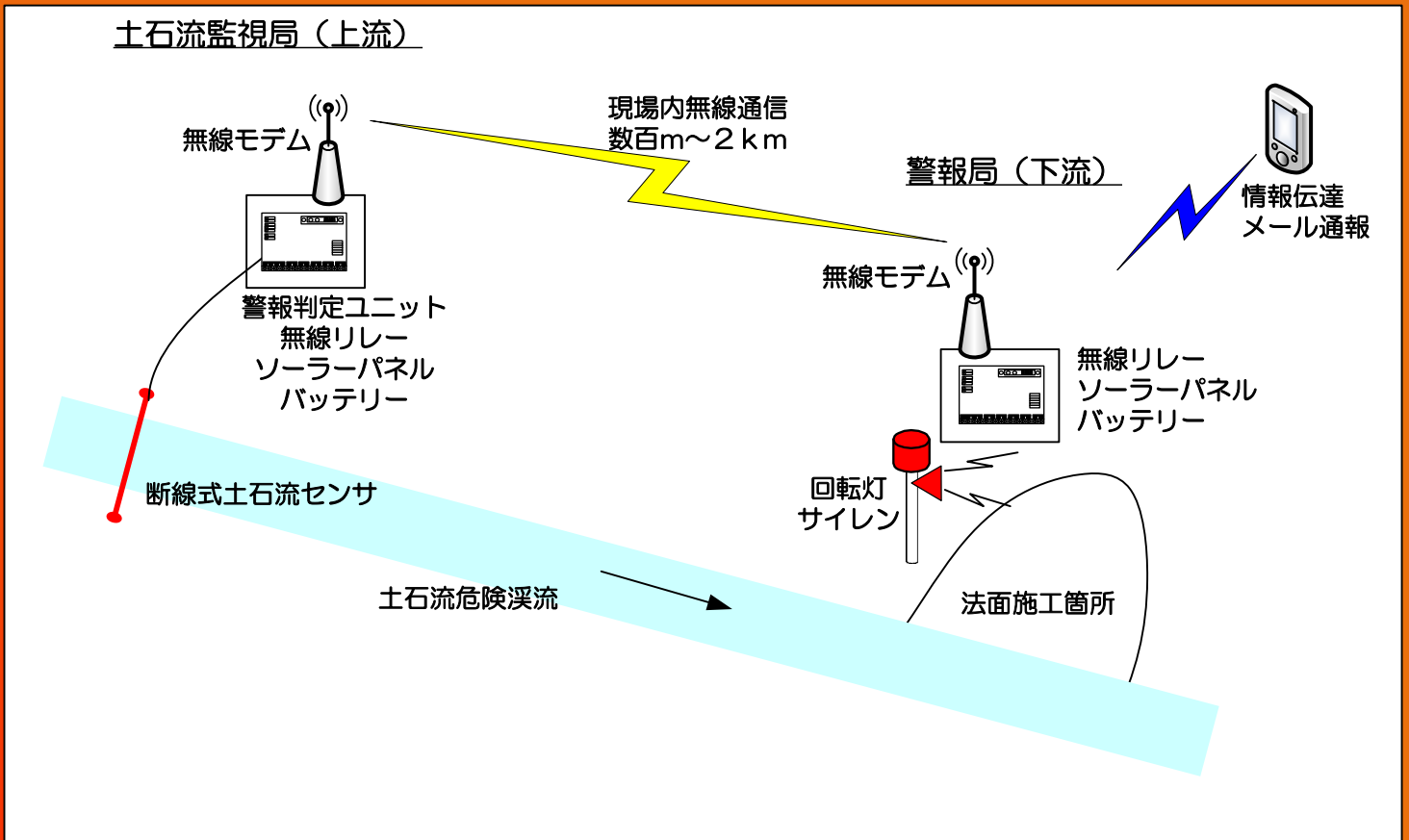


無線機とソーラーパネル



下流の警報局

システム設置事例



使用機器



傾斜センサ

傾斜角を電圧データで出力します。消費電流が少ないのでソーラーパネルでの運用に向いています。

- 電源 DC6V~15V
- 測定範囲 -30度~+30度



無線リレー

無線モデムと組み合わせて、接点情報を無線伝送します。

- 接点入力信号 3点
- 接点出力信号 2点
- 充電制御機能付き



4CH警報ロガー

アナログ電圧データとパルス入力を自動記録し、警報判定出力を行います。通話エリアであれば簡単にネットワーク化できます。

- アナログ入力 電圧4CH
- パルス入力 無電圧接点カウント
- データ記録 最大20000データ



デジタル無線モデム

通信距離が飛躍的に向上し、安定した無線通信が可能です。

- 周波数 467MHz
- 最大送信出力 1W
- 通信距離 見通し10~20km
郊外3~5km, 市街地1~3km
- 許可申請が必要